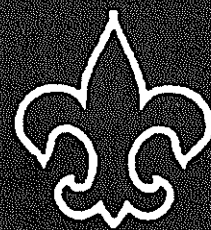


# REINANZAKA SCOUT CLUB



霊南坂スカウト交流の場 2009年3月15日号  
発行：霊南坂スカウトクラブ／日本基督教団霊南坂教会内  
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-14-3 電話：03-3583-0403

No.36

## 霊南坂教会の祈りと援助に支えられて

GS第4团团委員長 古谷 久代



60周年行事のあと、思いがけず団委員長というバトンを渡されました。

さて、私達の団が、60年という長い間活動を続けてこられたのは、教会がこの運動を覚えて常に祈り、様々な援助をしてくださっていることと、もう一つは絶える事なくスカウトが与えられ、歴代のリーダーが集会を支え続けているからと考えます。

顔や名前を思い出せる方達のみでなく、わずかな時でも、名を連ねた多くの友がいたことも忘れてはならないでしょう。

私たちは「〇〇さんの団」と何気なく口にする時がありますが、こと4団に関してはそのような事はないようです。

これはとても大事な事だと気付きました。

4団が個人に依存する事のない、みんなで支え合っている団なのだという事が明白だからです。又、スカウトからリーダーへの道が明確についている事も大切なことです。

時代に合った集会を展開するには流れに乗れる若者が計画するのが一番です。今4団に不足している

のは若いリーダーとおばさん(?)との世代のギャップを埋める事の出来る中間年齢のリーダーです。この年齢のリーダーを増やしたいと私は望んでいます。

この世代は家庭にも職場にもなくてはならぬ年代ですので、ボランティアを依頼するのはなかなか難しいのですが、諦めては何も始まりません。

「周りでサポートをするので、是非・・・」と声を掛けています。中間年代のリーダーが増えて「昔は…」と「今は…」が継がれば団の体制は盤石になることでしょう。こうして指導者の体制がしっかりすれば、集会も魅力あふれるものになるはずです。

前主任牧師が霊南坂教会を去る時「私の事は今日限り忘れてください。キリストを忘れず日々歩んでください。」と云われました。スカウト活動も、その精神が一人一人に根付く事こそが大切です。

その手伝いが少しでも出来れば嬉しいです。

70周年までには、次の方にバトンを渡し、秘かに退きたいと思っています。



*Service is giving up your own pleasure or convenience to lend a hand to others who need it.*

*Rovering to success*



ベーデン・パウエル卿の言葉  
奉仕とは、自分のもっているよろこびと、自分のもっている便利さを、必要とする人にさしのべることである。

## 恒例 合同餅つき

合同お餅つきが1月19日(土)幼稚園の園庭で行われました。前日にGSが餅米を研ぎ、お母様方が教会の台所できなこ・大根おろし・お汁粉・お雑煮などの準備をし、BSリーダーがかまどと、臼と杵の準備をして実施しました。



# 2009年度 霊南坂スカウトクラブ総会報告

2009年2月22日(日)スカウトサンデーの午後、演奏会に続いて2009年度総会を2階会議室において倉持雅人君が議長を務め、下記の通り開催しました。

## 1・2008年度事業報告

2008年は「霊南坂スカウト60周年」の翌年に当り記念GS/BS合同キャンプに参加しました。那須の野営場に記念植樹もしました。

スカウトクラブではホテルオークラ近くから出張のシェフとして本格的シェフの衣装で、テントに装飾を施しガーデンプッシュを開設してスカウトたちに喜ばれました。

### 主な活動報告

- |   |   |
|---|---|
| <p>1月16日 クラブ役員会<br/>19日 スカウトお餅つき会<br/>2月6日 クラブ役員会<br/>17日 スカウトサンデー礼拝、愛餐会<br/>演奏会「The Flu」(フォークソングカルテッド)<br/>スカウトクラブ総会<br/>3月15日 第18回BS研修会「スカウティングが目指すもの」<br/>19日 クラブ役員会<br/>4月15日 クラブ会報 No. 34発行<br/>24日 クラブ役員会<br/>5月28日 クラブ役員会<br/>6月13日 クラブ役員会</p> | <p>7月2日 クラブ役員会<br/>19日 合同キャンプ委員会<br/>8月9日 BS・GS 60周年記念合同キャンプ<br/>10月4日～5日 港区民祭り<br/>21日 クラブ役員会<br/>25日 教会バザー スカウトクラブとして出店<br/>25日 クラブ会報 No. 35発行<br/>12月4日 クラブ役員会<br/>13日 スカウト合同クリスマス<br/>24日 教会クリスマス・キャンドルサービス</p> |
|---|---|

## 2・2008年度決算報告

霊南坂スカウトクラブ2008年度決算報告

(2008年1月1日～2008年12月31日)

収入の部		単位：円	
科目	予算額	決算額	備考
前年度繰越金	816,881	816,881	
年会費	300,000	284,000	3,000×85
入会金	0	7,000	1,000×7
賛助金・寄付金	60,000	119,000	コンサート演奏者、その他
広告収入	12,000	1,500	
雑収入	20,000	68,650	クリアファイル販売上
受取利息	1,000	1,228	
(今年度収入)	(473,000)	(461,378)	
合計	1,289,881	1,278,259	

支出の部		単位：円	
科目	予算額	決算額	備考
教会感謝金	30,000	30,000	
事業費	245,000	320,897	
(事業費内訳)	(35,000)	(37,000)	スカウトサンデー
	(60,000)	(35,700)	会報印刷費
	(20,000)	(20,000)	スカウト研修会補助金
	(100,000)	(100,000)	現役スカウト支援
	(30,000)	(0)	教会法講習会
	(0)	(128,197)	60周年記念キャンプ支援ツアー
通信費	170,000	116,920	総会案内・会報郵送料
事務費	12,000	9,555	
会議費	20,000	25,534	
雑費	10,000	10,250	根本真久手帳、大沢良友様お花料
小計	497,000	513,166	
次年度繰越金	797,881	765,103	
合計	1,289,881	1,278,259	

次年度繰越金内訳 現金 26,200円 郵便貯金 738,903円  
上記の通りご報告申し上げます。

2009年2月22日

霊南坂スカウトクラブ 会長 小崎 忠雄  
会計 小林 孝江  
大槻 敬太郎

会計監査の結果適正に処理されていることを認めます。

会計監査 日下部 英一  
柳 健一

### 総会出席者 (敬称略)

小崎忠雄、矢澤宏子、古谷久代、大槻敬太郎、小林孝江、桧垣君子、西谷芳美、小田島典子、西郷崇子、高橋準一、小崎敬子、大岩久、倉持雅人、戸田健次郎、内藤正樹、清水康輝、小宮忠紀、浅田きみよ、塚田洋子、高玉大、日下部英一、田中新二

## 3・2009年度事業計画

- 1月17日 スカウト合同 「餅つき大会」  
2月22日 スカウトサンデー礼拝・演奏会 「EM 2」 (Jazz)  
3月7日 第19回 ボーイスカウト研修会  
「スカウト運動に欠けてはならないものは何か」  
15日 クラブ会報 NO. 36 発行  
6月27日 上級救急法講習会 (消防署に依頼)  
8月 ボーイ・ガールスカウト 各団キャンプ  
9月5日 ボーイ・ガールスカウト合同キャンプファイヤー  
10月11・12日 港区民祭り  
24日 教会バザー  
15日 クラブ会報 NO. 37 発行  
12月 12日 スカウト合同クリスマス

## 4・2009年度予算案

霊南坂スカウトクラブ2009年度予算 (案)

2009年1月1日～2009年12月31日

単位：円

収入の部			支出の部		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
年会費	300,000	3,000×100円	教会感謝金	30,000	
入会金	10,000	1,000×10	事業費	285,000	(内訳)
賛助金・寄付金	60,000			35,000	スカウトサンデー
広告収入	18,000	6,000×3		55,000	会報印刷費
雑収入	40,000	バザー、ネック テープ等の売上		20,000	スカウト研修会補助
受取利息	1,000			100,000	現役スカウト補助
				3,000	ベースバック
				30,000	教会法講習会
				45,000	リーフレット1,000部作成費
			通信費	170,000	
			事務費	20,000	
			会議費	30,000	
			雑費	20,000	
小計	429,000		小計	558,000	
前年度繰越金	765,103		次年度繰越金	636,103	
合計	1,194,103		合計	1,194,103	

上記の通り2009年度の予算(案)をご提案いたします。

スカウト基金	546,964
貯蓄残	85,500
利息	989
現金高	633,453

2009年2月22日  
霊南坂スカウトクラブ  
会長 小崎 忠雄  
会計 小林 孝江  
大槻 敬太郎  
塚田 洋子

## スカウトサンデー

霊南坂教会では、毎年 B-P のお誕生日（2月22日）に一番近い日曜日をスカウトサンデーと定め、教会全体で特別にスカウトをおぼえての聖日礼拝をささげてくださっています。

今年のスカウトサンデーはびたり誕生日の2月22日に当たりました。

押川幸男先生は B-P のラストメッセージで語られた人生の真の幸福について、聖書のお話で、イエス様はお金持ちであっても人々から嫌われて、友達もないザカイに「あなたの家に泊まりたい」と声をかけられ、その為に来たのだと云われました。その喜びで新しく生まれ変わる事が出来たザカイと同じように、イエス様は私たち一人一人の心の扉をノックして呼びかけてくださっています。スカウトのみなさんもそのノックの音を聞き漏らさないでイエス様をお迎えして救いの喜びの人生をあゆみましょうと、お話くださいました。

礼拝の後、教会員の皆様との愛餐会がもたれました。

教会の育成の業に支えられていることを感謝して、チャーチスカウトとしての歩みを進めて行かねばならないと再認識したスカウトサンデーでした。（西郷）

## スカウトクラブからジャズコンサートをプレゼント



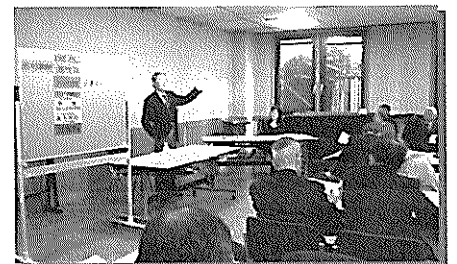
今年のコンサートはスカウトクラブの朱村兄の友人である小林さんが参加している18人編成のビッグバンド「EM2 JAZZ ORCHESTRA」の皆さんのご協力を頂いて、演奏とプロ歌手・高島みほさんの歌を楽しみました。

このバンドは横浜近郊のジャズ好きの仲間が毎週集まって練習しているとのことで、素晴らしいリズムとハーモニーで聞かせてくれました。

写真のようにスカウトも一緒にステージで大きな声で歌いました。



## 第19回ボーイスカウト研修会



2009年3月7日霊南坂教会1階ホールにおいて恒例の杉原正BS団委員長による研修会を開催しました。関係の各地の団からもリーダーが出席して約100名の受講者の前で「スカウト運動に欠けてはならないもの」と題して、「スカウティングは創始者B-Pの基督教の信仰を基本として始まった」と教え「ちかや」と「おきて」の実践こそ信仰であり、スカウトを信仰に導くことがリーダーの責務であると説かれました。

六本木で味わう沖縄の魅力・古酒と沖縄料理

# 島唄楽園

SILIMAUPA PARADISE

\* 今田富士雄・富江の後を継いで道雄・文江兄妹でやっています \*

ホームページ <http://homepage1.nifty.com/myers/>

六本木店 東京都港区六本木7-14-10 誠志堂ビル4階

TEL:03-3470-2310 FAX:03-3401-9321

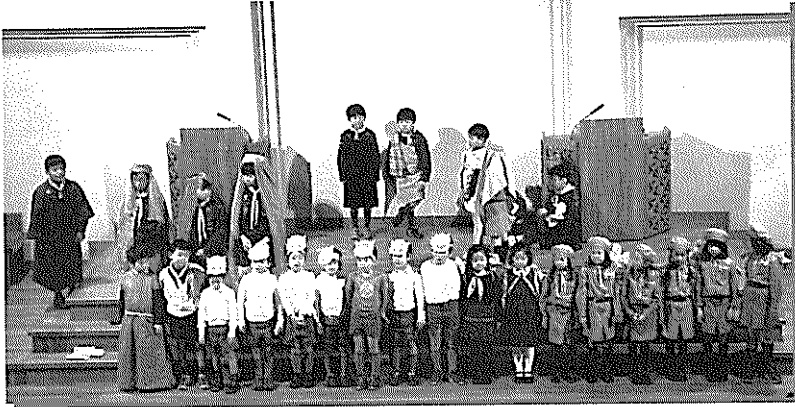
美海店 東京都港区南青山1-15-18 リーラ乃木坂1階

TEL:03-5771-1303 FAX:03-5771-1303

ランチ11:30~14:30(月~金) 鳥酒タイム17:00~24:00 日・祝休

日本初の万華鏡の店 誠志堂マイヤーズ TEL:03-3401-9291

## スカウトクリスマス



12月13日 ガールスカウト、ボーイスカウト、OG・OBなどが集い、スカウト合同クリスマス礼拝をおこないました。

第1部はブラウニー、テンダーフット、カブ隊、ビーバー隊による「はじめてのクリスマス」の楽しいページェントを行いました。

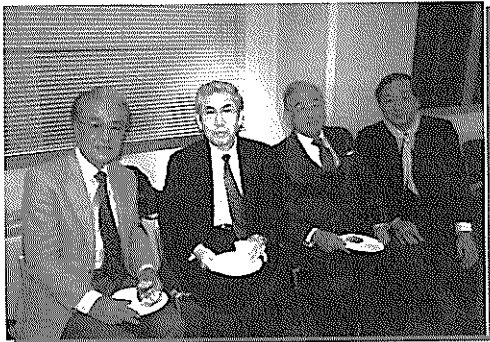
第2部はGSシニアの司会、備後リーダーの奏楽で礼拝をまもり、佐原牧師から「神様の命のチューブ」のお話を聞き、全員でキャンドルサービスを行いました。

礼拝終了後、GSは3階ホールでクリスマス祝会を行いました。

保護者をはじめスカウトクラブも招待いただきました。

手作りのケーキとお茶とゲームで楽しくクリスマスを祝いました。

また、BSは毎年参加してくださる春日部7団と大網白里1団のスカウトとの交流と祝会がもたれました。



霊南坂スカウト創設からのスカウトである荒垣恒英さん（通称ガキさん）がニューヨークから来日中でスカウトクリスマスの礼拝に出席され、GSのクリスマス祝会に参加されました。

写真：左から二人目

## 中国派遣に参加して

GS シニアリーダー 光野実江



2008年は日中青少年友好交流年でその閉幕式に参加する中央青少年団体連絡協議会主催の派遣事業でGS日本連盟の代表の一人として12月12日から、青島市、済南市、北京市の3都市を訪問しました。

青島市では、青島少年宮を見学、日本の塾という印象を受けました。子供達が囲碁やダンス、楽器などの授業を熱心に受け、親も一生懸命協力する姿に、一人っ子政策がもたらす激しい競争の一端を見ました。私は「他の人を思いやる」という情操教育をGS活動で受けてこられて幸せだと感じました。済南市では世界遺産の孔廟、孔府、孔林を見学し、山東大学の学生2名も同行し、互いに理解でき、今後につながる関係を築くことができました。北京市では、交流年の閉幕式と晩餐会に出席しました。温家宝主席や福田前総理も出席し盛大な式典でした。

私たちは、お客様として迎えられ貴重な体験ができました。唯一つ残念だったのは、最前線の指導者との交流がなかったことでしたが、中国の歴史や文化、社会のしくみなど学ぶことができました。最後に印象に残った、青島市青年連合会の夏主席のお話を紹介します。『お互いの違いを否定するのではなく、認め合い、理解する、これが重要なのです。皆さんは、中国と日本との架け橋となり、今回学んだことを日本の青少年に伝えていかなければいけない。これはあなた方の使命です。』この言葉を胸に、今後も活動を頑張っていきたいと思っております。

印刷業者卸し専門店・一般のお客様も大歓迎

チラシ カタログ 名刺 その他広告&  
リーフレット DM 販売促進ツール  
パンフレット  
デザイン・印刷  
企画・デザイン・印刷総合

有限会社 セブン・センス CALL 03-3583-0877

〒106-0044 東京都港区東麻布2-3-6-2F

FAX 03-3589-5181

Mail info@7sense.co.jp



## B.-P. 卿の「ローバー・スカウト宛て」最後のメッセージ発見

スカウトクラブOBの高橋弘長、柳健一、両兄からB.-P.の「ローバー・スカウト宛て」の最後のメッセージが存在することを慶応スカウト三田会からの情報として頂き、高橋兄に入手経緯の取材をお願いしたところ、目黒1団副団委員長、田邊健一郎氏経由で東京連盟港3団団委員、高島潔氏から次の一文を頂きました。

これこそは、全ての日本のスカウト関係者にとって、画期的な新発見ではなからうか。

従来 B.-P.の「最後のメッセージ」には、スカウト宛て、ガール・ガイド宛て、スカウター/ガイダー宛て、一般人宛て、の4種類の存在が知られており、日本のスカウト運動関係者の中でも、一部の研究熱心な人々はそのことを知っていた。

しかしローバー・スカウト宛てのものの存在を知っていた人は、恐らく皆無だったのではあるまいか。その点では無論、筆者も例外ではない。

ところが、これ又偶然のことから、その存在が確認され、B.-P.の自筆手書き原文を入手することができた。

事の発端は、於保信義氏である。

彼は「The Official History of Scouting」のB.-P.の「最後のメッセージ」の項に、「ローバー・スカウト宛て」がリストアップされていることを発見し、筆者に知らせてきたのである。

於保氏も筆者も、それまで全く聞いたこともなかったもので、その記載については半信半疑であったが、筆者は直ちに英国連盟のスタイルズ夫人に問い合わせのメールを送った。

折り返し送られた返信には、B.-P.の自筆手書き文のPDFファイルが添付されていた。2009年1月13日のことである。

内容は他の「遺言」に較べ、極めて簡単である。B.-P.はローバー・スカウト達に、スカウティングを“やり続ける”ことの重要性を指摘し、先ずそうすることを望んでいる。

そして自分の死後、スカウト運動の真の担い手となるべきはローバーであり、ローバーがスカウティングを“やり続ける”ことが、運動の発展につながることを示唆しているだけの、短いものである。その所為であろうか、他のメッセージの署名はRobert Baden-Powellとなっているのに、これだけは「B-P」で済ませている。

高島 潔

### ローバー・スカウトに宛てたバーデン・パウエル卿直筆のメッセージ

To Rover Scouts

Well, all of you who have gone on Scouting as Rovers have stuck to it though very often it may have been throughly disheartening times. But when I go hence I want you to stick to Scouting with greater fortitude than ever.

I want to feel that I am leaving the movement safe in good hands to be carried on after I am gone.

And you are the fellows to do it. Don't let Scouting go down. Here you have a real

opportunity for Service to keep up the movement for the benefit of your younger brothers.

By so doing you will be helping your country and your neighbours and thereby doing service for God.

B-P

### ローバー・スカウト諸君

さて、ローバーとしてスカウティングを続けてきた君達は、徹底的にやる気を失くした時も度々あったかも知れないが、それを「やり続けて」きた。

しかし私が召されても、君達がこれまで以上に強固な意志を持って、スカウティングをやり続けて欲しい。

私は、この運動を私の死後も続けてくれる素晴らしい人々の手に、無事委ね得たと思いたい。

そして君達こそが、それをしてくれる人達なのだ。スカウティングを衰退させぬ様に。

より若い兄弟達のために、この運動を続けることで、君達は真の奉仕の機会を得ることになる。

そうすることで、君達は国の為に、隣人の為に役立ち、しかもそれによって神への奉仕もしていることになるのである。

B-P

このメッセージは我々 OB・OGにも語っていると思います。

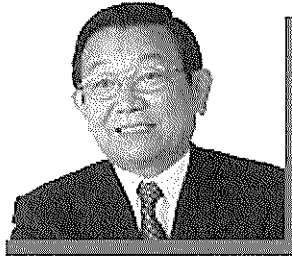
今一度、B.-P.のメッセージに触れ、思いを新たにしたいと思います。(田中新二)

高島氏はメッセージを纏めて「バーデン・パウエル夫妻メッセージ集」を出版されるとのことです。 ¥500.-

申し込みは：eメール [otaka96@wine.ocn.ne.jp](mailto:otaka96@wine.ocn.ne.jp)

FAX：046-882-5270 高島潔氏

個人で頒布されるので、なるべくグループでまとめて分けていただくことを推奨します。



私が長野県の疎開から東京に帰ってきたのは昭和二十一年初め、ただちに港区立麻布小学校に入學し、小学生時代五年間を六本木を中心とした町ですごしました。ごく自然に麻布中学に進み、中学一年生の時からボーイスカウト東京第四団に入会をさせていただきました。

その当時、私の家は麻布の新竜土町にあって、私をボーイスカウトに誘って入れて下さったのは今田富士雄さんです。

霊南坂というのは今も思い出せば素敵な坂で、そこを切り切った所に霊南坂教会がありました。東京第四団の本部はその霊南坂教会の尖塔の小さな部屋にあり、らせん階段をぐるぐる回ると団室に至るといふ今にして思えば大変優雅な風景の中にありました。

霊南坂教会には庭もあり、ガールスカウトも存在していて、私にとってそこで過ごした二年間は自分の少年時代の良き思い出であり、良き友達に恵まれた二年間だったと思います。

よく思い出すのは、今田さん、飯田さんが、ウクレレを弾いていた『コロラドの月』という曲です。私を最初にボーイスカウトに誘ってくれた今田さんは、実家は六本木の誠志堂の隣りにある小さな和菓子屋さんで、その当時はお父さん、お母さん、お姉さん皆健在で、私はその家によく遊びに行きましたし、今田さんも新竜土町の我が家に遊びに来ていました。二級スカウトの試験に合格したと

きの後で、中学三年からは海外に行ってしまいましたのでボーイスカウトの活動はそこで終わりになったのですが、ボーイスカウトの団体生活で学んだ事はその後私の人生にとって大切に貴重な体験となりました。

昭和二十六年、二十七年、二十八年の頃の話ですから物も乏しく貧しい日本でしたけれども、今考えるとこの時代は輝いていた。

一つ一つの事が大切で、一つ一つの物が貴重に思えた時代だったと思います。

土曜日の午後、霊南坂に通って訓練を受けていましたが、河口湖では夏のキャンプ、蔵王でのジャンボリーへの参加、これほど懐かしい思い出はありません。

河口湖では、風邪気味で頭が痛かった私に誰かがアスピリンをくれてそれがよく効いた事、川に皆で泳ぎに行った事、川の水で冷やしたトマトが塩をつけるとあんなに美味しいものであった事、帰り道重い荷物を背負って長い道を歩いた後友人がくれたドロップの一粒が素晴らしくおいしかった事…等々思い出はつきません。

その当時の写真を友人の一人が数年前に複写して私に送ってくれました。かわいい少年時代の自分の姿を見つけて、こんなよい時代もあったのだと思いました。

詳しくはわかりませんが、蔵王で開かれたジャンボリーの大会はおそらく戦後初めての大きな大会だったと思います。東京第四団からもたくさんの人が参加し、私も参加して、キャンプファイヤーや集団での生活、少年として感動を覚えたものです。

缶詰の鯨の肉の大和煮はその当時は贅沢品でした。それをおかずにしながらかき飯で炊いた御飯のお

いしさ、今でも貧しかった時代そのような事に感動していた自分を懐かしく思うのです。

その他大きなイベントとしては夜間三十キロの走破というのに参加した事があります。こんな事は全て辛いのですが、走破し終わった途端の喜びというのは大きなもので、今の子供たちの教育の中にも、困難を乗り越えた後の喜び、そういう教育があってもいいのではないかと考えています。

昭和五十一年衆議院に初当選してからは、都議会議員の平山羊介さんや衆議院議員の桜内義雄先生が熱心だった「ボーイスカウトを支える議員連盟」の一員ともなって陰ながら全国のボーイスカウト活動を支援する側にまわりました。

文部大臣に就任した平成六年・七年には大分県で大きな大会があり、文部大臣としてそこに呼ばれ、挨拶をすることとなりました。

東京第四団の関係者が現役を退かれてからも、東京都全体のボーイスカウトや全国のボーイスカウトのために役員として汗を流していることを知ってはおりましたが、大分に行つて驚いたのは第四団出身者が大変大事な役割を皆担っているという事です。

少年時代の友達に勤めに出ている方もおられるし、家業を継いでいる方もおられるし、いろいろな方がいろいろな場所で皆元気にやっておられます。その方々に会うと、私の時代は昭和二十年代に一瞬にして戻り、世の中は貧しかったけれども、あの時代は私の人生にとって黄金時代の思い出に思えてならないのです。

霊南坂スカウトの仲間が財務・金融・経済財政担当大臣として一人三役の活躍をされています。彼の健康と活躍を祈りましょう。政務に多忙なため 2001 年 1 月の会報原稿を再掲しました。(田中)

カナダからの便り

竹本裕子

佐原牧師・アメリカへ



私は今年度から“パスファインダーズ”(Pathfinders) と呼ばれる 12-14 才の部門を担当しています。日本でいうシニア部門に相当すると思います。あどけなさが抜けない 12 才とティーンエージャーになってうっすらお化粧もし始めた 14 才の差は驚く程です。私自身この部門 1 年生でどんなプログラムがあるのかガイドブック片手に翻弄する日々です。こちらでは 9 月が新学期なので入団式は 9 月または 10 月に行います。

新規に入団するには 3 回集会に参加してからという決まりがあるため、必ずしも全部門が同時に入団式をするわけではありません。でも、一年の終わりのフライアップは一堂に会して 6 月に行います。写真は去年のものですが、私の所属するケリスデール地区のフライアップです。

三つ葉をかたどったドアを真ん中にして片方にガイド (G)、スパークス (S)、反対側にパスファインダーズ (P) とブラウニー (B) が座ります。そして、そのドアを通して S から B へ、G から P へとフライアップしていきます。写真でドアを通っている少女は Pathfinders から Rangers へフライアップする 14 才の子です。Rangers では独自の活動の他にジュニアリーダーと呼ばれるリーダーのアシスタントとして年少の部門のお手伝いをします。どの地域でもリーダー不足に悩んでいます。幸いなことに今年は 6

人もレンジャーにあがったのでとても助かっています。さて、パスファインダーズの活動ですが、3 年をかけてめざすのはカナダコードという章です。この資格? は学校の単位としても認められているものなのでそう簡単にはもらえません。テストがある訳ではありませんが、時間をかけて取り組まなければならない課題や決められた時間以上こなさなければならないボランティア活動などがあり、公私共に忙しくなる年令にはかなり大変なようです。

来年 2010 年はバンクーバーオリンピック、そしてガイド 100 周年、行事が目白押しです。また時間があつたらいろいろお知らせしたいと思います。

竹本裕子さんは

1966 年 GS ジュニアに入団、レンジャー～リーダーとして活躍。

1991 年からバンクーバー在住、現在は UBC (ブリティッシュコロンビア大学) 教育図書館の図書アシスタント。

コミュニティーカレッジの成人教育部で日本語を教えていらっしゃいます。

霊南坂教会のスカウト担当の佐原光児牧師は 3 月で辞任され、5 月よりアメリカ、カリフォルニア州のシカモア組合教会に赴任されることになりました。

京都生まれの京都市育ちの優しい口調で、しっかり解り易く聖書のお話をしてくださり、いつもスカウトを見守り、共に行動してくださり、スカウトたちにとっても慕われています。

食べるのが大好きで、何でも喜んでくださいます。

キャンプではスカウトと共にドラム缶のお風呂に入ったり、ゲームをしたり、スカウト活動に積極的に参加し、導いていただきました。

これからのご活躍を祈ります。

赴任地で落ち着かれましたら、現地の様子を会報にお知らせいただきたいと思います。



ど  
ん  
し  
ん

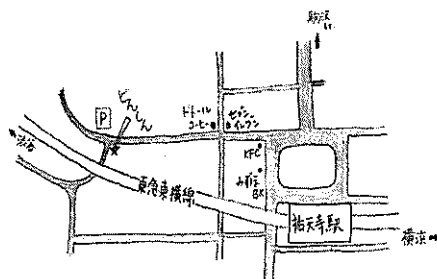
DON'T THINK, FEEL,

お一人でも気軽に  
お立ちください  
詳しくは、電話かホームページで

<http://www.donshin.jp>

日曜定休  
PM 6:00~  
目黒区祐天寺 1-22-2 2F  
03-5725-1788

OB 大槻将嗣 の店です





昨年は4年に一度のオリンピックイヤーということもあり、「隣国である中国について理解を深めよう」というテーマのもと、集会を企画しました。

とくに「中国の食問題」については、連日新聞などのメディアで取り上げられ、スカウトたちが「食問題」に関心をもっていたこともあり、「食」を考える良い機会だと考えました。

そこで、プロの中華料理人であるスカウトクラブの朱村さんをお招きし、本格中華料理「エビロールキャベツとかに玉」に挑戦しました(スカウト12名、リーダー3名)。普段の調理方法とは違い、エビをたたいたり包んだり、中華プロの技や経験談などを教えていただきました。

スカウトたちは「嫌いだったエビが食べられた。」

になって驚いた(卵白はエビロールに、黄身はかに玉)と、感激していました。

もちろん、と一つもおいしかったです。

朱村さんから「食を楽しむ知恵」を教えていただいた、貴重な一日となりました。

### おいしかった「カニ玉」

ジュニア 西石垣 美海

11月、私たちジュニアは、スカウトクラブの朱村さんから「カニ玉」と「ロールキャベツ」を教えていただきました。

みんなで材料を切ったり、お肉をまぜたりして、たのしかったです。

私は家では食べたことがなかったので、家にかえってからもお母さんと一緒につくってもらいました。

私は、「カニ玉」が大好きになりました。

また、教えていただきたいと思います。

ありがとうございました。

### 上級救急法講習会 開催

スカウトクラブ、サポート隊では夏のキャンプシーズンの前に、GS/BSリーダー、保護者をはじめ教会関係者を対象に、消防庁の救急法講習会を開催いたします。

日時：2009年6月27日

時間：午前9時～午後5時

会場：霊南坂教会3階ホール  
予定人数40名

費用：1名2,600円(教材費)

参加お申し込みは：[stp@nifty.com](mailto:stp@nifty.com)  
田中新二まで

上級救急法講習会受講終了者には、東京消防庁より上級救命技能認定証(3年間有効)が発行され、履歴書などにも記載できます。

スカウト活動にはもちろんのこと、幼稚園教諭や保育士、介護にかかわる方々に最適です。

ボランティア活動を志す人にとって、認定証は災害ボランティア、国際ボランティア等に参加する場合に必要な条件となっていることがあります。

スカウトクラブ役員に新しく4人が加わって下さいました。

浅田きよみ(会計担当)、小田島典子(書記担当)、西谷芳美(書記担当)、檜垣君子諸姉です。

### 編集後記

お読みになって感じた方も多いと思いますが、霊南坂スカウトの60余年に及ぶ歴史と共に素晴らしい人材が今や各界で活躍しています。

与謝野馨兄は世界的大恐慌といわれるなかで日本経済の舵取り役を担っています。BS杉原正団委員長は日本の青少年教育に献身され、多くのスカウトとリーダーを育成しています。

これから羽ばたくスカウト、そして世界各地でそれぞれの役割で活躍している霊南坂スカウトの健康を祈ります。

田中新二

**天ぷら家**

営業時間  
11:30~14:00  
18:00~21:00予約  
定休日  
日・祭日

**高玉 大が調理します**

〒140-0004  
東京都品川区南品川4-6-3  
電話・FAX：03-5460-5519